

■地理院地図(淡色地図)を加工して作成

① 禅定寺

ぜんじょうじ



禅定寺は1000年以上前の歴史をもつ仏教寺院です。美しい茶園で知られる宇治田原町に位置し、古来より「宇治田原越として先がけとなるお寺」と称されています。歴史的に有名な仏像と禅定寺について記載された歴史的文書等の重要文化財を収蔵しており、寺院の建築や庭園も見どころです。本堂は大きな茅葺き屋根を持つ17世紀の代表的な寺院建築であり、庭園には毎年干し柿が作られる柿の木が茂っています。

〒京都府綴喜郡宇治田原町大字禅定寺小字庄地 100
☎9:00 ~ 16:30 (受付 16:00 まで) ☎0774-88-4450

② 酬恩庵 (一休寺)

しゅうおんあん (いっきゅうじ)

酬恩庵は、禅僧として名高い一休宗純によって再興されたことにより「一休寺」として広く親しまれています。総門をくぐると石畳の参道が続き、足元には苔が敷き詰められ、両脇には楓、また桜、つつじ、さつき、沙羅、萩、楓など四季を通じて美しい自然を楽しむことができます。典型的な江戸時代の禅苑庭園である南庭、禪院枯山水である北庭などの方丈庭園も見事。都会の喧噪を忘れゆつとした時間を過ごせます。

〒京都府京田辺市薪里ノ内 102 ☎0774-62-0193
☎9:00 ~ 17:00 (宝物殿 9:30 ~ 16:30)



③ 寿宝寺

じゅほうじ



704年に創建されたと考えられており、古くは「山本の大寺」と称されてきましたが、度重なる木津川の氾濫により、1732年に現在の地に移転され、現在は、以前より小さな寺院になっています。東側は、春には桜、秋には紅葉と訪問客を楽しませてくれる公園があります。

昔は、鶴の飛来があったといわれ、また、仲秋の名月の名所でもあったとされています。本尊として、重要文化財である「千手観音」が祀られています。

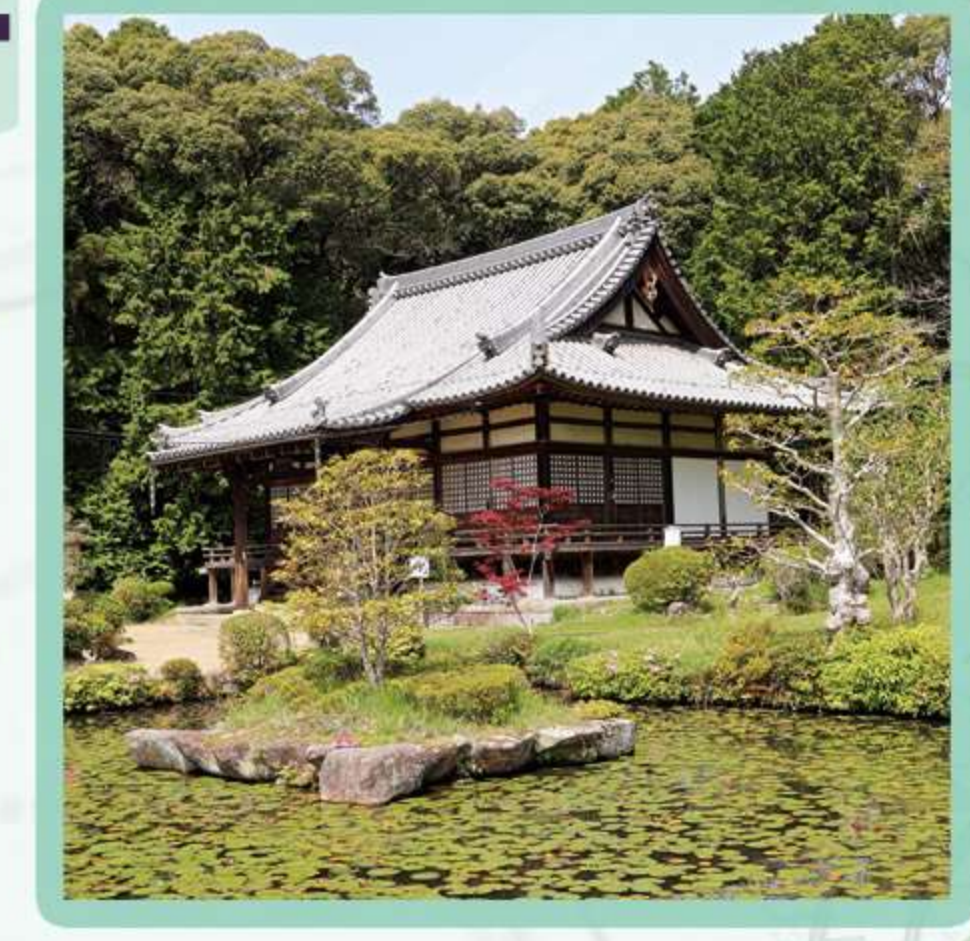
〒京都府京田辺市三山木塔ノ島 20
☎9:00 ~ 17:00 ☎0774-65-3422
※拝観は事前申込が必要です。

④ 大御堂観音寺

おおみどうかんのんじ

大御堂観音寺は、1300年以上前の天皇の勅命による創建とされています。本尊の十一面観音立像は、建立当初から祀られているもので、国宝に指定されています。若々しい凛とした表情を間近で見れば、1300年の時を超えて、壮麗を極めた「筒城の大寺」が偲ばれます。四方を自然に囲まれ、春には満開の桜と菜の花、秋には紅葉を楽しむことができます。

〒京都府京田辺市普賢寺下大門 13
☎9:00 ~ 17:00 ☎0774-62-0668



⑤ 蟹満寺

かにまんじ



「今昔物語」に登場する「蟹の恩返し」の舞台で、境内にいたるところに蟹の紋様が配され、本堂の中で蟹の恩返しの説話を聞くことができる。まさに蟹の寺です。

毎年4月18日の蟹供養放生会には、全国から蟹に関わる事業者の方が訪れ、境内で沢蟹が放流されます。

本尊の国宝 釈迦如来坐像は、奈良時代よりもさらに遡る白鳳時代の丈六の金銅仏。険しい表情や流れるような衣文線が特徴的で、本堂ではその威厳ある姿を間近で見ることができます。

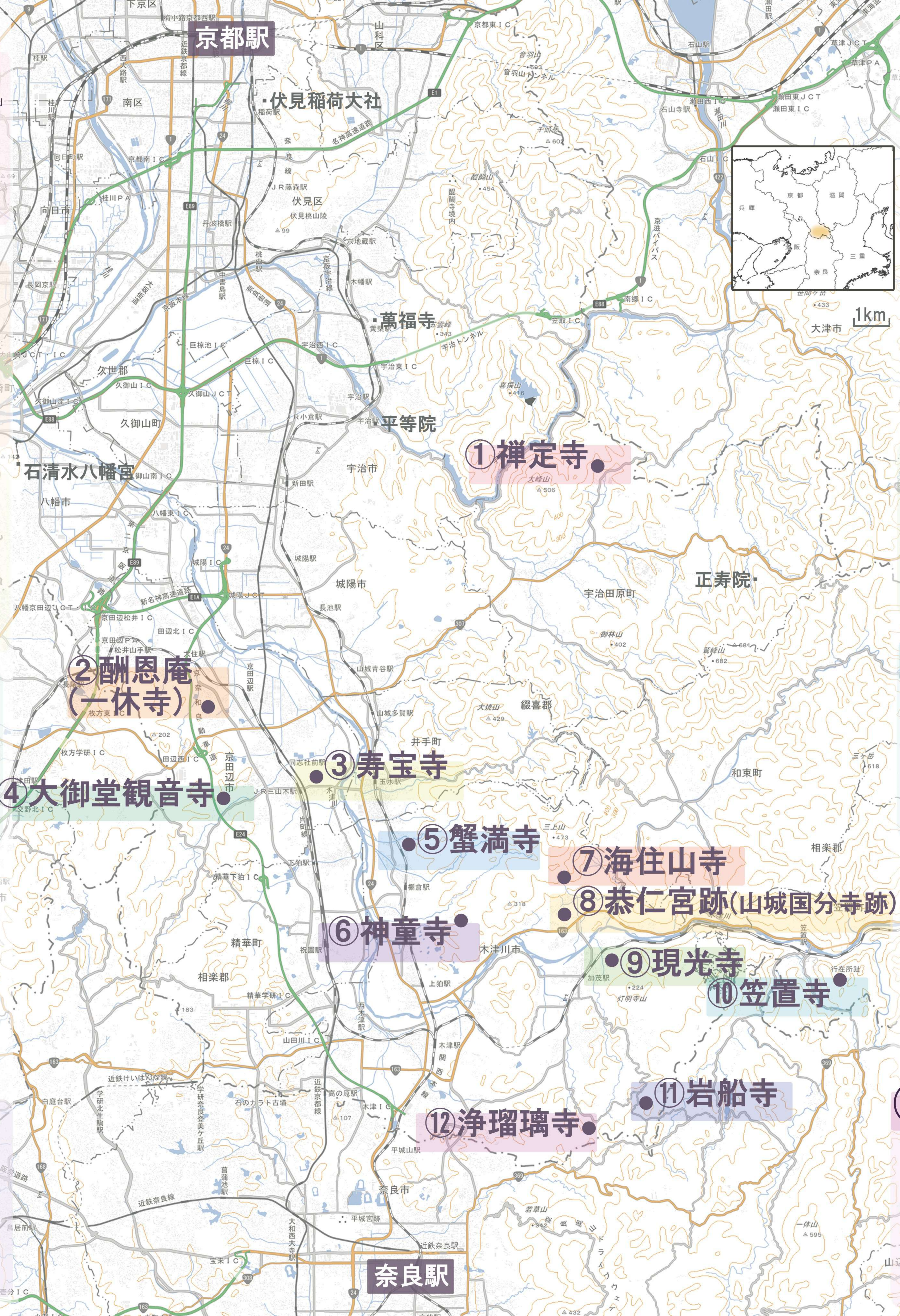
〒京都府木津川市山城町綺田浜 36 ☎8:30 ~ 16:00 ☎0774-86-2577

⑥ 神童寺

じんどうじ

聖徳太子の創建とされ、そののち、修験道の開祖である役行者が神童寺を訪ね、この山で修行したといわれています。修業中の役行者の前に、二人の神童が現れ、助力を得て蔵王権現像を刻んだという伝説が残る修験道の霊地です。本尊蔵王権現を祀る本堂は、応永13年(1406年)に再建されたもので、重要文化財に指定されています。愛染明王坐像、不動明王立像など、収蔵庫には数多くの文化財が安置されており、「平安時代の美術館」と称されることも。

〒京都府木津川市山城町神童子不晴谷 112
☎9:00 ~ 17:00(冬期は~16:00)☎0774-86-2161



⑦ 海住山寺

かいじゅうせんじ



聖武天皇が平城宮から遷都した恭仁宮を眺める山中にあり、境内からは、かつて泉川と呼ばれた木津川を展望することができます。

国宝五重塔は鎌倉時代に建立されたもので、初重には菱階(もこし)が設けられ、心柱が初重天井の上から立てられているのが特徴です。また、本尊の十一面観音立像は平安時代のもので重要文化財に指定されています。

〒京都府木津川市加茂町例幣海住山 20
☎9:00 ~ 16:30 ☎0774-76-2256

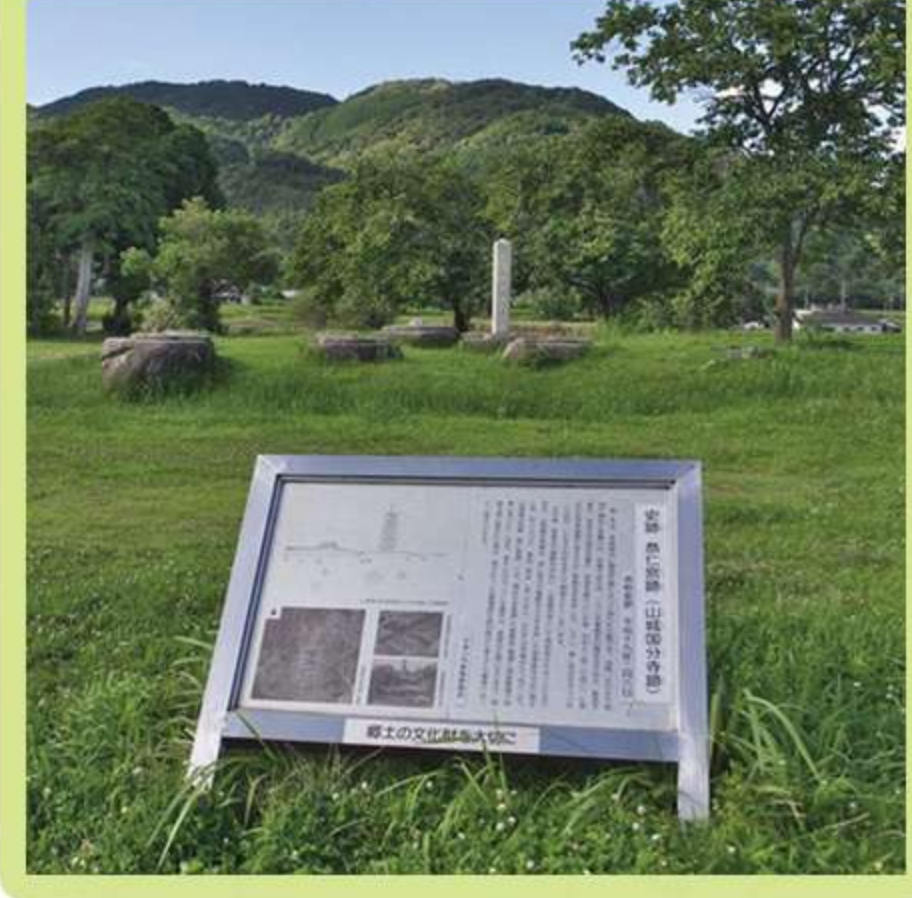
⑧ 恭仁宮跡(山城国分寺跡)

くにきゅうせき (やましろこくぶんじあと)

丘陵に囲まれた、瓶原の盆地にかつての日本の都「恭仁京」の宮跡があります。現在は、田園が広がる中にあり、公園のように市民の憩いの場となっています。注意深く見ると、あちこちに礎石を見つけることができ、恭仁宮やその後の山城国分寺を偲ばせています。

イベントやお祭りも行われるこの宮跡は、国指定史跡として、今も地域文化、伝統を守る重要な役割を担っています。

〒京都府木津川市加茂町例幣中切 29



⑨ 現光寺

げんこうじ



海住山寺の南東およそ3キロに現光寺があります。寺の起源や歴史についてはほとんど知られていません。しかし、海住山寺の記録によれば、少なくとも1697年の再興から現存しています。第二次世界大戦以来、現光寺を管理してきた海住山寺とは長いつながりがあります。

現在、現光寺は無住ですが、重要文化財の十一面観音坐像などが祀られています。普段は公開されていないため、特別公開などの機会に訪ねてください。

〒京都府木津川市加茂町北山ノ上 9 ☎0774-76-2256(海住山寺)

⑩ 笠置寺

かさぎでら

木津川の南、標高288mの笠置山の頂上に笠置寺があります。巨石が神聖なものと考えられていた2000年前から信仰の対象となっていました。本尊は、岩石に刻まれた弥勒菩薩です。弥勒菩薩は、未来のこの世界に現れ、釈迦がこの世界からいなくなった後、悟りを開き多くの人々を救済する菩薩であるとされています。

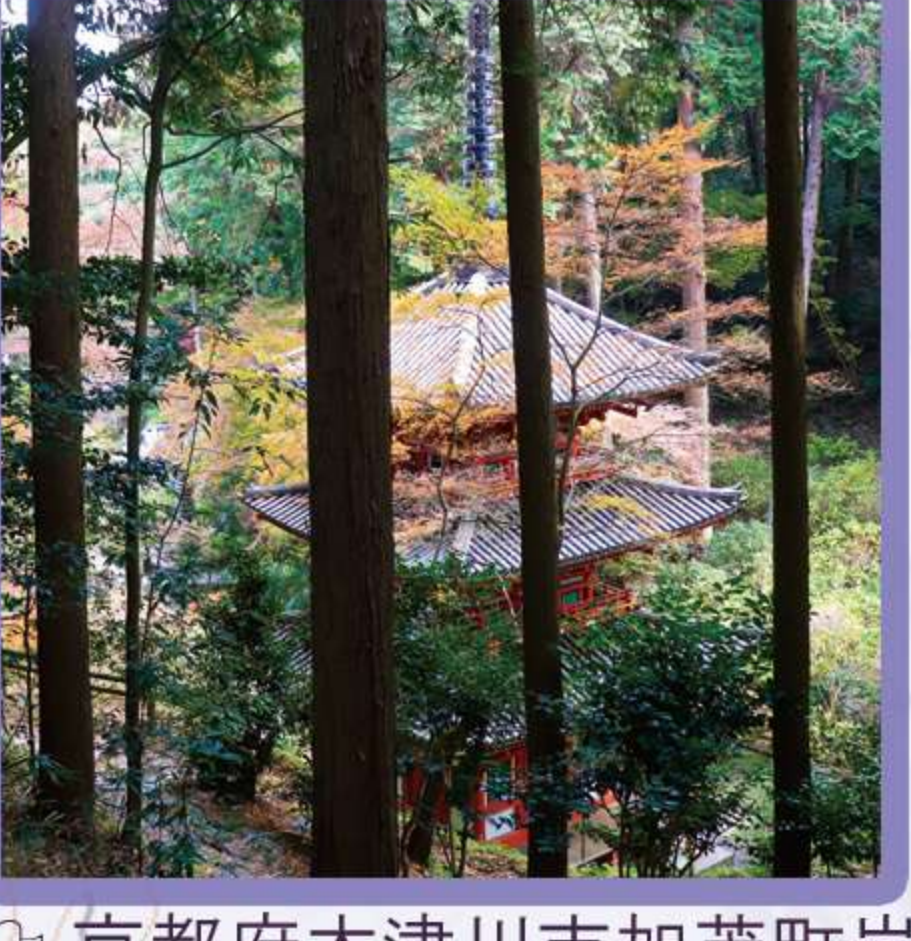
笠置寺はその地形により、長い間僧侶の修行の場とされていました。現在では、訪問客もその山道や修行の道を行くことができます。

〒京都府相楽郡笠置町笠置笠置山 29
☎9:00 ~ 16:00 ☎0743-95-2848



⑪ 岩船寺

がんせんじ



寺の縁起では、天平元年(729年)に聖武天皇の勅願で建立されたと伝えられ、本堂に安置されている阿彌陀如来坐像は、高さ3メートルに迫る丈六の坐像。平安時代に一本のケヤキから切り出された一木造りの仏像は、その大きさから重量感を感じますが、表情は柔和な印象で、肉身の漆滲、衣の彩色も見ることができます。

花の寺としても知られ、境内には季節の花も見どころです。

〒京都府木津川市加茂町岩船上ノ門 43 ☎0774-76-3390
☎(3月~11月) 8:30 ~ 17:00(受付 16:45 まで)
☎(12月~2月) 9:00 ~ 16:00(受付 15:45 まで)

⑫ 浄瑠璃寺

じょうるりじ

極楽浄土を表現した庭園は、国の特別名勝に指定されており、宝池を中心に、西に本堂・九体阿彌陀仏、東に三重塔・薬師如来を祀る平安時代の形を今に伝えています。平安時代には、京都を中心に九体の阿彌陀如来を祀るお堂が多く造られたと云われますが、現存しているのは浄瑠璃寺だけです。

池の東に佇む三重塔は、平安時代末期に京都一条大宮から移築されたものとされ、本堂・九体阿彌陀如来像とともに国宝に指定されています。

〒京都府木津川市加茂町西小丸場 40 ☎0774-76-2390
☎(3月~11月) 9:00 ~ 17:00(受付 16:30 まで)
☎(12月~2月) 10:00 ~ 16:00(受付 15:30 まで)

